

## 1. 7月全国行事

1) 国民安全の日

7月1日

2) 全国安全週間

7月1日～7月7日

## 2. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

3. 他社の事故・災害事例から : トラックの荷台から飛び降りて捻挫

## 4. 今月のヒヤリハット

## 1. 7月全国行事

2) 全国安全週間

7月1日～7月7日

我が国の労働災害は長期的には減少しているが、平成26年上半期は労働災害が大幅に増加し、8月に緊急対策を講じたものの、平成26年の労働災害は前年を上回る結果となった。(死亡者前年比27人増) これらの状況を踏まえ、平成27年度の全国安全週間のスローガンについては、安心して働くことができる職場づくりを目指すに当たり、職場をあげて危険箇所を発見し、速やかに労働災害防止対策を講じることを通じて事業場の安全意識を醸成することが重要であるという観点から以下のとおりとする。

### 「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」



労働災害、事故の防止にはTBM(ツールボックスミーティング)が有効です。TBMとは、職長を中心としてその日の作業の内容や方法・段取り・問題点について、短時間で話し合ったり、指示を伝達するものです。このTBMは、作業開始前だけでなく、必要があれば作業の進行に応じて作業中や職場ミーティング中時にも行うのが望ましいです。

## 2. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

①福山第二工場

非常にきれいな職場の維持。



②仙台工場

治具の保管:省スペース化に努力しており  
スタンドを横立てかけ保管してました。

### 3. 他社の事故・災害事例から : トラックの荷台から飛び降りて捻挫

＜災害のあらまし＞

朝の始業時から20分後、事業場の運送業者の作業員A(男性・62歳)が運転手B(男性・50歳)と、2トン積みトラックで各職場を回って廃品を回収作業中、次の職場の廃品を積み込むため、乗っていた荷台(高さ65cm)から飛び降りた際、地面の砂利で足首をくじいて休業5日間の障害を負いました。

＜災害の主な原因＞

- ①荷台から降りる際、荷台の側面にある昇降のための足場を利用しないで飛び降りたこと。
- ②砂利で凸凹のある地面に飛び降りたこと。
- ③一定の時間に外部の廃品処理事業者に搬入するため、運転手もAをせかしていたこと。
- ④Aは高齢で、また体重が75kgと太り気味のため、障害を受けやすかったこと。
- ⑤始業前の柔軟体操や朝礼等も実施されていなかったこと、など。

＜同種災害の防止対策 例＞

- ①安全作業手順を定めて、荷台から飛び降りることは禁止し、昇降足場を利用する。
- ②回収作業を急がなくても出来るよう、作業内容や方法を検討し、計画的に実施する。
- ③始業前の柔軟体操や、KYK等の朝礼を行い、安全意識や安全行動の高揚の定着を図る。
- ④高齢者については、心身の加齢現象による危険を本人に自覚させるとともに、回りの者も注意する、など。

### 4. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

#### 「安全は 危険に慣れずに ルールに慣れよ」

事例	足を滑らして、転倒しそうになった。
どこで	ショットブラスト室。
あらまし	ショットブラスト室でスチールグリッドが床に散乱しており、足元が滑りやすくなっていた為、転倒しそうになりヒヤリとした。
原因	スチールグリッドが床に散乱していたこと。
教訓・対策	ショット機を稼働させた際は、終了後に床面の掃除をすること。

粉塵障害防止規則(抜粋)

※1 粉塵装置の定期自主検査(規則第17条)

局所排気装置、除塵装置等については、1年以内に1回事業者が自主検査を行い、その記録を3年間保存する。

※2 清掃(規則第24条)

粉塵作業を行う屋内作業場については、毎日1回以上、清掃を行わなければならない。

※3 特別の教育(規則第22条)

常時特定粉塵作業に係わる業務に就く労働者に対し以下の教育をしなければならない。

粉塵発散防止及び作業場の換気の方法、保護具の使用方法、粉塵に係わる疾病及び健康管理等。

### 5. その他

「無限じゃないぞこの資源 一人一人がエコ活動」 H27年環境保全最優秀作品